

平成 28 年 9 月 13 日

Ai-SYSTEM ご導入企業、団体様各位

株式会社エーアイシステムサービス  
代表取締役 正木和明

平成 28 年 8 月 1 日 17 時 09 分に報知された緊急地震速報(キャンセル報)について  
【最終版】

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、Ai-SYSTEM をご利用いただいております企業、団体様に多大なるご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げます。

現在、本誤報に関して、気象庁含め各機関から情報収集を実施しております。原因や今後の運用については、下記の通り皆さまへ情報展開させていただきたく存じます。

尚、Ai-SYSTEM に関する不具合等は見受けられなかったことを、併せてご報告申し上げます。

謹白

## 記

### 1. キャンセル報が配信されるまでの経過と誤報の原因に関して

- 1.1. 平成 28 年 8 月 1 日 17 時 9 分に、気象庁より緊急地震速報が発報されました。震央は東京湾、マグニチュードは 9.1、深さは 10km(第 3 報)との情報でした。弊社はこの緊急地震速報を Ai-SYSTEM ご導入企業、団体様に対し配信しています。マグニチュードが 9 超と大変巨大な地震を予測したため、緊急放送等が作動したケースもあったと推察されます。
- 1.2. 緊急地震速報は第 1 報から第 3 報まで配信されましたが、その後、キャンセル報が配信され、誤報である事が確定しました。(別紙①を参照ください)
- 1.3. 今回の誤報は、気象庁からの情報が誤報であった事に起因しております。誤報が発報された理由について、気象庁は、富津観測点(千葉県)で大きなノイズが記録されたためと、当日 19 時に発表しております。ノイズが何かの説明は、8 月 12 日に気象庁より、「平成 28 年 8 月 1 日に発表した緊急地震速報(予報)の原因等について」で発表されました。(別紙②を参照ください)
- 1.4. 気象庁発表資料「平成 28 年 8 月 1 日に発表した緊急地震速報(予報)の原因等について」では、富津観測点の地震計電源の故障によって生じた揺れを検知するデータの急激な変

化が、原因だったとしています。しかし、電源が故障した原因として雷等の可能性が考えられるとしたものの、その特定は技術的に困難であるとなりました。(別紙②を参照ください)  
今回の誤報を受けて、気象庁は原因となった地震計と同様の地震計の 15 観測点の運用を、当面停止するとしています。この影響として、当該観測点付近で地震が発生した場合、地震検知が最大 4 秒程度遅れる可能性があるとしています。

- 1.5. 今回は緊急地震速報「予報(高度利用者向け)」が発報されたために、各位に対して緊急地震速報が配信されました。一方、緊急地震速報「警報(一般向け)」については発報されなかったために、エリアメール等では配信されませんでした。

Ai-SYSTEM で用いる予報が発報される条件としては、下記の通りです。

- いずれかの観測点(全国約 1,000 箇所)で、P 波または S 波の振幅が 100 ガル以上となった場合
  - 地震計で観測された地震波を解析した結果、震源・マグニチュード・各地の予測震度が求まり、そのマグニチュードが 3.5 以上または最大予測震度が 3 である場合
- 一方、警報が発報される条件としては、下記の通りです。
- 地震波が 2 点以上の観測点で観測され、最大震度が 5 弱以上と予想された場合

## 2. キャンセル報への対応に関して

- 2.1. 1 観測点のデータを使っている段階では、衝撃や落雷、機器障害等で誤った緊急地震速報(予報)を発表することがあります。誤報と判断した場合は、キャンセル報が発報されます。
- 2.2. 今回の緊急地震速報では、第 1 報の約 15 秒後に誤報と判断し、キャンセル報が配信されました。従って Ai-SYSTEM で緊急放送が起動した後も、キャンセル報を利用し緊急地震速報を取り消す内容の放送を起動させることが可能です。  
※放送設備側の対応が必要です。
- 2.3. キャンセル報と放送設備との接続は、誤報に対して有効であるため、是非ご利用されることをお勧めいたします。

## 3. 発報状況の把握に関して

- 3.1. 報数が更新されていく緊急地震速報「予報」をリアルタイムで把握するには、デスクトップアプリケーション『Ai-SYSTEM 表示ソフト』のご導入が有効です。震源情報や地震波の広がり、キャンセル報の情報を含む緊急地震速報の詳細が表示されるため、是非ご確認ください。

以上

【別紙①】気象庁資料(8月1日発表)

平成28年8月1日  
気象庁 地震火山部

お知らせ

平成28年8月1日17時09分頃に発表した  
緊急地震速報(予報)について

平成28年8月1日17時09分頃に、千葉県富津市付近を中心に最大震度7を予測した緊急地震速報(予報)を発表しましたが、その後周辺の観測点で揺れが観測されなかったため、15秒後にキャンセル報を発表しました。

この原因は、緊急地震速報に活用している防災科学技術研究所の富津観測点のデータに大きなノイズが記録されたためです。

なお、緊急地震速報(警報)は、このようなノイズによる発信を回避するため、2点以上の観測点で揺れを観測した場合に発表することとしており、今回、緊急地震速報(警報)は発表しておりません。

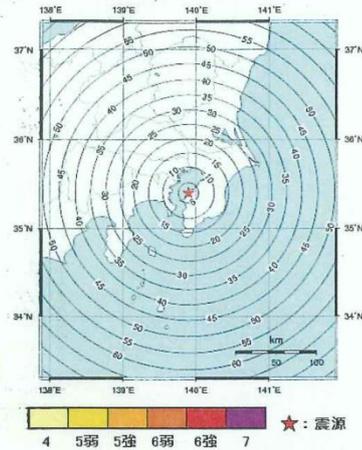
また、17時12分頃にも千葉県富津市付近で震度5弱以上を予測した緊急地震速報(予報)を発表しましたが、これも同様のノイズによるものと考えられます。

緊急地震速報(予報)の内容

発生した地震の概要(キャンセル報)

地震発生日時	震源地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	最大震度
平成28年08月01日17時09分	(キャンセル報)	---	---	---	---	---

緊急地震速報第1報提供から主要動到達までの時間及び推計震度分布図



緊急地震速報の詳細

提供時刻等	地震波検知からの経過時間(秒)	震源要素等				予測震度
		北緯	東経	深さ	マグニチュード	
地震波検知時刻	17時09分3.5秒	---	---	---	---	---
1	17時09分04.5秒	1.0	35.3	139.9	10km	※1
2	17時09分06.8秒	3.3	35.4	139.9	10km	※2
3	17時09分14.6秒	11.1	35.4	139.9	10km	※3
キャンセル	17時09分18.0秒	15.5	---	---	---	キャンセル報

- ※1 最大震度5弱程度以上と推定 千葉県富津市付近
- ※2 震度7程度以上 千葉県南部、東京都23区、神奈川県東部、千葉県北西部、埼玉県南部、東京都多摩東部、千葉県北東部、神奈川県西部、茨城県南部、埼玉県北部、茨城県北部、群馬県南部
- 震度6強程度以上 東京都多摩西部、伊豆大島、静岡県伊豆、埼玉県秩父、山梨県東部・富士五湖、栃木県南部、静岡県東部、新潟県中・西部、三宅島、群馬県北部、栃木県北部、長野県中部、福島県中通り
- 震度6程度以上 静岡県中部、神津島、静岡県西部、長野県南部、長野県北部、新潟県中越、岐阜県美濃東部、愛知県東部、福島県浜通り、新潟県上越、福島県会津、愛知県西部、石川県能登
- 震度5弱程度以上 岐阜県飛騨、八丈島、新潟県下越、富山県東部、山形県置賜、岐阜県美濃中西部、富山県西部、三重県南部、三重県中部、宮城県南部、新潟県佐渡、山形県村山、滋賀県北部、石川県加賀、宮城県北部、宮城県中部
- 震度4程度以上 滋賀県南部、福井県嶺北、福井県嶺南、山形県最上、奈良県、山形県庄内、京都府南部、大阪府北部、和歌山県南部、岩手県内陸南部、兵庫県南東部、大阪府南部、秋田県沿岸南部、京都府北部、岩手県沿岸南部、和歌山県北部、兵庫県北部、秋田県内陸南部、兵庫県淡路島、岩手県内陸北部、兵庫県西部、秋田県沿岸北部、徳島県北部、鳥取県東部、徳島県南部、香川県東部、岩手県沿岸北部、鳥取県中部、岡山県南部、岡山県北部、青森県三八上北、鳥取県西部
- ※3 震度7程度以上 千葉県南部、東京都23区、神奈川県東部、千葉県北西部、埼玉県南部、東京都多摩東部、千葉県北東部、神奈川県西部、茨城県南部、埼玉県北部、茨城県北部、群馬県南部
- 震度6強程度以上 東京都多摩西部、伊豆大島、山梨県東部・富士五湖、静岡県伊豆、埼玉県秩父、栃木県南部、静岡県東部、新潟県中部、山梨県中・西部、三宅島、群馬県北部、栃木県北部、長野県中部、福島県中通り、新潟県中越
- 震度5強程度以上 神津島、静岡県西部、長野県南部、福島県浜通り、長野県北部、岐阜県美濃東部、愛知県東部、福島県会津、新潟県上越、新潟県下越、愛知県西部、宮城県南部、石川県能登
- 震度5弱程度以上 岐阜県飛騨、八丈島、富山県東部、山形県置賜、岐阜県美濃中西部、富山県西部、三重県北部、三重県南部、三重県中部、新潟県佐渡、山形県村山、滋賀県北部、石川県加賀、滋賀県南部、福井県嶺北、宮城県北部、宮城県中部
- 震度4程度以上 福井県嶺南、山形県最上、奈良県、山形県庄内、京都府南部、大阪府北部、大阪府南部、和歌山県南部、岩手県内陸南部、兵庫県南東部、秋田県沿岸南部、京都府北部、岩手県沿岸南部、和歌山県北部、兵庫県淡路島、兵庫県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸北部、兵庫県西部、秋田県沿岸北部、徳島県北部、鳥取県東部、徳島県南部、香川県東部、岩手県沿岸北部、鳥取県中部、岡山県南部、岡山県北部、香川県西部、青森県三八上北、高知県東部、鳥取県西部、広島県西部

## 【別紙②】気象庁資料(8月12日発表)

平成28年8月12日  
気象庁地震火山部

### お知らせ

平成28年8月1日に発表した緊急地震速報(予報)の原因等について

平成28年8月1日7時36分頃、17時09分頃及び17時12分頃に発表した緊急地震速報(予報)の際に、観測点の電源部故障により、地震計(加速度センサー)の出力データに急激な変化を生じたことが判明しました。この電源部の故障については、雷災等が影響している可能性も考えられますが、原因の特定に繋がる記録や痕跡がなく、その特定は技術的に困難な状況です。

気象庁では、今後、同じ原因で緊急地震速報(予報)が発表されることを防ぐための対策について検討中ですが、その対策を講じるまでの当面の措置として、電源部故障の対応が必要な基盤強震観測網(KiK-net)(※)観測点全15地点(別添参照)の利用を、8月9日18時30分以降、停止する措置を施しました。

なお、この措置により、当該観測点近傍で浅い地震が発生した場合に、地震検知が最も長いケースで4秒程度遅れる可能性が考えられます。

※基盤強震観測網(KiK-net)とは

KiK-netは国立研究開発法人防災科学技術研究所が、高感度地震観測網(Hi-net)と共に整備した強震観測網です。観測施設は、全国約700箇所に配置され、各観測施設には観測用の井戸(観測井)が掘削されており、地表と地中(井戸底)の双方に強震計が設置され、鉛直アレーを構成しているのが特徴です。

参照 [http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/docs/kyoshin\\_index.html](http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/docs/kyoshin_index.html)

# 別添

国立研究開発法人 防災科学技術研究所が展開する  
「KiK-net」のうち緊急地震速報に利用している観測点配置図



真岡、霞ヶ浦、江戸崎、鉾子中、蓮沼、千葉、  
勝浦東、鴨川、富津、厚木、八王子、所沢、  
岩槻、伊勢崎、御代田 の計15点